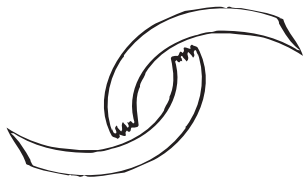


一人ひとりがそれぞれの個性や能力を活かし合い、共に生きる社会をつくるために



# 扉を開いて



北区男女共同参画推進ネットワーク会報

第86号

2023年7月19日

ねっとわーくの活動

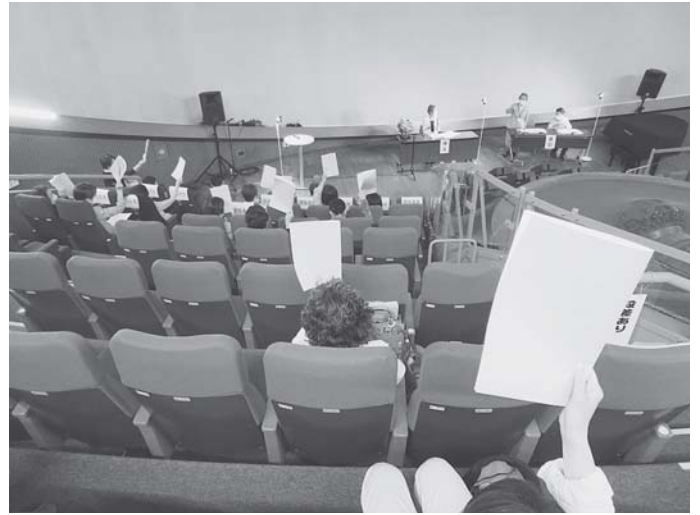
## 5月20日(土) 第29回定期総会

※2~3ページに報告を掲載



議長を務めた山口さん

マスクの着用が自主判断となり、着席制限もなくなりました。



## 5月20日(土)・21日(日) 2023ねっとわーくまつり

※4~6ページに報告を掲載



4年ぶりのオープニングには山田区長も登場



オープニング後には、区長を囲んでの記念撮影も。



### 新年度のスタートにあたり

代表 大塚 麻子

このたび、第15期代表になりました大塚です。10年間、運営委員として携わってきましたが、諸先輩方の素晴らしい活躍ぶりを思うと、私で務まるのが不安と緊張でいっぱいです。至らぬ点があるかと思いますが、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

今年度もおかげさまで「第29回定期総会」と「ねっとわーくまつり」を無事に開催することができました。厳しい緊張の日々もようやく出口が見え、まつりの人出もコロナ禍前の賑わいを見せていたように感じました。

また、先の区長選挙では北区初の女性区長が誕生し、区議会でも女性議員が3分の1を超え、北区も男女共同参画社会の実現に向けて少しずつ前進しているようで、今後が楽しみです。

これからも区と協働し、『ねっとわーく』らしい事業や会員同士の交流等、大事なことは守りつつ、時代に合わせながら、みんなで知恵とアイデアを寄せ合い活動してまいりたいと思います。今年度も『ねっとわーく』へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 第29回定期総会報告

北区男女共同参画推進ネットワーク第29回定期総会を2023年5月20日(土)の午前10時から午前10時45分まで開催しました。

議決権のある会員の総数91(団体会員27、個人会員64)に対して、出席25、委任状45の合計70により、総会は成立しました。

議長は個人会員の山口紀子さん、書記は田邊みつ子さんと川井久子さんが務めました。

以下の議案が提出され、すべて承認されました。

第1号議案 2022年度事業報告

第2号議案 2022年度決算報告

第3号議案 2022年度会計監査報告

第4号議案 第15期運営委員・役員改選

第5号議案 2023年度事業計画案

第6号議案 2023年度予算案

第7号議案 会計監査選出

第4号ならびに第7号議案で選出された運営委員・役員、会計監査は下欄に掲載しています。

なお、この総会の議事録は、6月下旬に各会員宛にお送りいたしました。



## 第15期(任期:2023~2024年度)の運営委員・役員



総会により、このメンバーに決まりました。よろしくお願ひします。所属部と部長も、運営委員会で下記の通り、決定しました。

- ◆代表: ◎ 大塚 麻子
- ◆副代表: ◎ 桑田 美佳
- ◎ 古賀 由希子
- ◆会計: ◎ 井上 ふみ子
- ◎ 田邊 みつ子
- ◆庶務: ◎ 矢吹 静子
- 青柳 あけみ(新任)
- 川名 亀代子(新任)
- ◆事業部: ◎ 我妻 澄江
- 関根 玲子
- 向坊 弘子
- ◆広報部: ◎ 横田 正基
- 川井 久子
- 眞庭 成子
- ◇会計監査: 長谷川 久子
- 山野 汐美(新任)

※敬称略。

◎印は総務会メンバー。それ以外は五十音順。

## 宍戸さんと谷山さんが退任されました

今回の総会を以て、運営委員の宍戸郁子さんと会計監査の谷山君子さんが退任されました。退任にあたり、総会でされたご挨拶の内容を掲載します。



## 2023年度 多様性社会推進課職員&スペースゆうスタッフ

4月から多様性社会推進課の職員およびスペースゆう専門スタッフの体制が以下の通りとなりました。

なお、『ねっとわーく』の担当には変更がありません。



総会前の職員・スタッフ紹介の様子

### スペースゆう専門スタッフ

かわしま さとこ  
川島 聡子さん  
たちかわ ひとみ  
立川 仁美さん  
なかうち ひろし  
中内 寛さん\*  
みやざき ひろみ  
宮崎 裕美さん(新任)  
よしざわ あやか  
吉澤 綾香さん(新任)

\*は『ねっとわーく』担当

### 総務部

なかざわ よしあき  
中澤 嘉明 部長

### 多様性社会推進課

はた ようこ  
秦 陽子 課長(新任)  
あさい たかゆき  
浅井 隆之 主査\*  
きむら みな  
木村 未菜 主査  
ありもと ろう  
有本 朗さん(新任)  
はしば ゆうすけ  
榛葉 悠介さん  
みやほら まい  
宮原 麻衣さん(新任)

### 多様性社会推進課長より

多様性社会推進課長  
スペースゆう所長

秦 陽子

この4月に、多様性社会推進課長・スペースゆう所長に就任し、3か月が経ちました。改めまして、よろしくお願ひいたします。

はじめに、「北区男女共同参画推進ネットワーク」の皆さまには、長年にわたり北区の男女共同参画社会の実現に向けてご活動いただき、誠にありがとうございます。また、男女共同参画社会の実現を目指し、ネットワークの皆さまと一緒に活動ができることを、大変心強く思います。

初めて参加させていただいた5月の「ねっとわーくまつり」では、区民の方が大勢来訪され、賑わいと活気に溢れていました。ネットワークの皆さんのこれまでの着実な活動の積み重ねがこの賑わいや活気につながっている様子を拝見し、着実に取り組むことの大切さを改めて感じました。

さて、来年度には、「第7次アゼリアプラン」の策定が控えております。男女共同参画社会をより一層推進する実行性のあるプランの策定に向け、今年度から、区民の方々を対象とした意識・意向調査を実施する等、新プラン策定に向けた準備を進めてまいります。

ネットワークの皆さまには、引き続き、地域の課題解決の担い手として活躍いただくと共に、男女がともに社会の様々な場面で生き生きと活躍し、一人ひとりが尊重されて能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

### ◎穴戸郁子さんの挨拶

18年、短い間でした。

『ねっとわーく』では短いと思います。男の子は黒、女の子は赤。この概念が私の感覚でした。この意識を改革しなくてはダメよ。と言われてきました。どこまで改革できたか分かりませんが、現在は孫たち男の子がピンクでも赤でもいいよね。好きな色を選びな。と言えるようになりました。

今後は会員として『ねっとわーく』と繋がっていきたくと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

### ◎谷山君子さんの挨拶

この度、監査を退任させていただきます。監査を通して良い経験となりました。これからは一般会員として、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



20日

## 講演会&対談 く性教育 いつから、どのくらい？

寄稿 岩崎 眞有美

染矢さんのお話から、包括的性教育は、科学的根拠と人権的アプローチに基づいたもので、学校教育だけではなく、社会教育、家庭教育も含めて進めていくもの、発達段階に応じて繰り返し積み重ねていくものであることを学びました。幼少期から性を当たり前に学ぶ世の中になると、正しい知識や行動が身につくとされています。

子どもたちに性をポジティブに伝える方法や、学校でできないことを家庭で実践できるヒント、動画、絵本や漫画、かるたなどの性教育のツールを紹介いただきました。また、性教育は我が子だけではなく、みんなで学び、理解していく必要があります。保育園や学校、PTAやサークル等の小さい集団から地域へ広めていく手法があることを、具体例を通して学びました。

対談では家庭で性教育を始めるメリットとして、その子の興味に合わせてできること、繰り返しできること、生活の中で気軽にできること、やり直

しができることを話しました。そして、性教育を始めるには親自身の性の価値観を大切にし、やりやすいところから取り組むと良いことを話しました。親も子どもに合わせて知識をアップデートし、親子それぞれのライフステージで性を学び続けることが大切です。

性の学びは小集団など、少ない人数になるほど理解度が確認しやすく、また、子ども自身がそれを説明できるようになることで、知識が自分のものとなります。その子や集団に合ったやり方を地域で取り組むことは、家庭とは違う良さがあります。北欧のようなオープンユースクリニックをいつか北区にも設置できたらと考えています。

「とても分かりやすかった。」「性教育は子どもだけじゃない、大人も必要、もっと多くの方に聞いてほしい。」「学校教育の中で性教育を進めてほしい。」「北区全部の中学校で実施してほしい。」「幼児期からの性教育の大切さを痛感した。」「思春期の子どもたちが正

しい知識を得ることが、性被害を未然に防ぐことにつながると思う。」「性についてオープンに話し合える雰囲気が必要。」「地域の大人として正しい知識と手段をもって自信をもって対応していこうと思った。」「等、参加者アンケートで沢山のポジティブな感想をいただきました。性について関心をもち、学びの場に来てもらうこと。まずはここが大切な一歩だと感じています。



【上】右が講師の染矢明日香さん  
(NPO 法人 ビルコン理事長)、左が岩崎さん

【左上】染矢さんと岩崎さんの対談の様子

【左下】会場には、おすすめの図書や教材も展示された



21日

### 活動紹介とステージ発表

担当 穴戸 郁子

今年もドームホールに於いて各団体有志による活動紹介とステージ発表を無事開催することが出来ました。

実際どんな活動をしているのだろうか、と多くの方に知って頂くこと、昨年と同様に大型スクリーン映像によって紹介しました。

今回参画された会員は「こころとからだの元気Lab.」(株)テイト微研「城北演劇を観る会」でした。

会の事をもっと知りたいと、この後各ブースに足を運ばれた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。



今年は3団体が各自の活動を紹介。各団体それぞれに特徴ある発表をされました。



### ミュージックベルの会

♪ミッキーマウスマーチ～  
夜明けのスカット～  
シングルベル～  
(他全5曲)

ベルの音色に毎年癒されます。そして懐かしい曲ほど心に響きますね。

後半は、ステージ発表です。ミュージックベル、今回初参加の友雅会(日本舞踊)、東京北区ケンハモサークルの発表には、暫し癒されたのではないのでしょうか。

### 友雅会

♪さくらさくら～香に迷う～五月雨～

舞を鑑賞している人たちの気持ちが一つになった気がします。



### 東京北区ケンハモサークル

♪主よ人の望みの喜びを～  
リベルタンゴ～  
愛を込めて花束を～  
(他全6曲)

多様なジャンルにも対応できる鍵盤ハーモニカの音色は奥が深いですね。ステージ発表、見応え、聴きごたえがありました。心に響きましたね。



最後に、もう一つ、「ねっとわーくまつり」では人と人の交流も忘れてはいけませんね。それではまた来年ねっとわーくしましょう。

21日

映画上映「**こどもかいぎ**」

担当 我妻 澄江



「こどもかいぎ」の映画化。監督は、出演にまつわるドキュメンタリー映画『うまれる』シリーズの豪田トモさん。認定こども園で1年近くかけて撮影した力作です。

この作品を昨年8月に映画館で観て感銘を受け、企画しました。監督は、出演にまつわるドキュメンタリー映画『うまれる』シリーズの豪田トモさん。認定こども園で1年近くかけて撮影した力作です。

タイトルになっている「こどもかいぎ」では、一人の保育士が進行役となり、5〜6人の子どもたちが輪になって、その日のテーマについて自由に話します。椅子に座っていられない子、遊び始める子、発言できない子、他の子の話を聴いていられない子もいますが、回を重ねるうちに、そうしたことが減ってきます。ひと言もしゃべらなかつた子が半年以上経って初めて口を開いた瞬間は、感動的です。「何でも話していい」「自分の話を聴いて、受け入れてもらえる」と確信でき

ただだと思います。

この園では、子ども同士で争いが起きた時には「ピーステーブル」に案内し、大人の臨席無しに言いたいことを言い合います。すっきり仲直りできるとは限りませんが、対話する習慣を作ることによって「言葉で解決すること」を身につけていきます。すぐに手や足が出て暴力的になる子は、こうした経験がなかったのかも、しれないと思います。

無理矢理、暴力で解決しようとする大人にならないためには、幼児期から言葉で表現する・聴く・対話する・コミュニケーションをとる訓練をすることが大切だと気付かされてくれます。

映画館では子ども連れでの鑑賞が可能だったことから、1回目は「子ども同伴可」とし、座席が必要な小学生までのお子さんには、半額の「子ども券」を用意しました。また、会員や一般の方の利便性を考えて、現金でのチケット販売、メール・ファクス・電話・peatix（ピーティックス）での受付を並行して行いました。

2回の上映会で146人の参加（うち子ども6人）があり、アンケートでは「子どもは子どもの思い、考えを持っている

### パネル展示（展示期間：4月28日～5月21日）

今年のパネル展示は、団体会員による展示のほか、テーマ展示として「東京は進んでる？～都道府県別ジェンダー・ギャップ指数～」と題して、都道府県別ジェンダー・ギャップ指数から東京都を中心にまとめたものを掲示しました。



のによく聞いてあげなかったことを反省です」「平和教育にとっても良いですね」「孫育てに役立てたい」「こどもかいぎを経験しない大人が世の中を動かすから、世の中がちっともよくならないのかも」など、沢山の感想をいただきました。保育士さん達のグループ参加も予想外に多く、「共感しながら拝見しました」「映画を通して自身の保育を見つめ直すきっかけになりました」「子どもが自分の思いを話している時に、大人の思いを伝え過ぎないようにしたいと思います」「自園でもサークルタイムを取り入れているので参考になりました」などの感想がありました。



# 北区長&北区議選（2023年4月23日執行）の結果から

## 北区議会議員（所属別：2023年5月～）

所属	名 前	新旧	会派役職
自民	永沼 かつゆき	現	幹事長
自民	金田 よしあき	新	副幹事長
自民	坂場 まさたけ	現	副幹事長
自民	石川 さえだ	現	政調会長
自民	平田 りさ	新	政調副会長
自民	松沢 よしはる	現	政調副会長
自民	仲田 みずき	新	PR 委員
自民	大沢 たかし	現	
自民	竹田 ひろし	現	
自民	戸枝 大幸	現	
自民	渡辺 かつひろ	現	
公明	宮島 修	現	幹事長
公明	坂口 勝也	現	副幹事長
公明	小田切 かずのぶ	現	政調会長
公明	くまき 貞一	現	政調副会長
公明	佐藤 かずゆき	新	PR 委員
公明	青木 博子	現	
公明	いながき 浩	現	
公明	近藤 光則	現	
公明	すどう あきお	現	
公明	ふるた しのぶ	現	
共産	山崎 たい子	現	幹事長
共産	野口 将人	現	副幹事長
共産	永井 朋子	現	政調会長
共産	せいの 恵子	現	政調副会長
共産	宇都宮 ゆり	新	PR 委員
共産	野々山 研	現	
共産	本田 正則	現	
立憲	花見 たかし	現	幹事長
立憲	うすい 愛子	現	副幹事長
立憲	赤江 なつ	現	政調会長
立憲	青木 のぶえ	新	政副、PR
維新	佐藤 こと	新	幹事長
維新	さいとう 尚哉	新	副幹、政調
維新	安達 しんじ	新	政副、PR
新社	福田 光一	現	
都民	山中 りえ子	現	
無	加藤 みき	新	
れ新	佐藤 つかさ	新	
国民	濱田 知明	新	

### 【会派名等の略称】

自民＝自由民主党議員団 公明＝公明党議員団  
 共産＝日本共産党北区議員団 立憲＝立憲クラブ  
 維新＝日本維新の会北区議員団  
 新社＝新社会党所属 都民＝都民ファーストの会  
 所属 無＝無所属 れ新＝れいわ新選組所属  
 国民＝国民民主党所属

### 【会派での役職の表記】

幹事長＝幹事長  
 副幹事長、副幹＝副幹事長  
 政調会長＝政務調査会長  
 政調副会長、政副＝政務調査副会長  
 PR 委員、PR＝議会情報 PR 委員会委員

※議員名に■網がかかっているのは女性。

今年の統一地方選挙、特に4月23日に執行された市区町村長と議員選挙では、女性政治家の躍進が全国的に注目された。いまや選挙の度に次々と女性首長が当選するようになり、杉並区議会など女性議員が過半数を占める地方議会も現れるようになった。

そして、北区もその流れから漏れず、史上初の女性区長が誕生し、区議会でも選挙の度に高くなった女性議員の割合が、3分の1を超えることとなった。

◆ 今回の北区長選挙では、4人の候補者の内、3人が女性となり、選挙前から女性区長の誕生が予想されることも多かった。我々『ねつとわーく』の会員からも、女性区長に期待する声が上がっていた一方で、図らずも候補者の内、2名が『ねつとわーく』会員という事

態に、戸惑いを感じた人もいたようだ。結局、山田候補が大接戦を制し、中山弘子前新宿区長から数えて7人目の女性区長となった。これで現職の女性区長が6人となり、23区の4分の1を超えた。

◆ 区議選では、立候補者55名の内、女性候補者は19名（34.5%）で、定数40名に対し、過去最多の15名が女性議員となった。

また、選挙直前に出産した現職や、選挙期間中に緊急出産した新人が当選するなど、女性ならではの問題が注目される機会にもなった。

一方、女性区議は議席の37.5%を占めたが、女性候補者の全得票数は落選者も含め、全体の41%であり、単純には言えないが、得票数の割に議席が少ないと見ることもできる。

## 現職の特別区女性区長（就任順）

区 名	区 長 名	就 任
足立区	近藤 やよい	2007年6月20日
杉並区	岸本 聡子	2022年7月11日
品川区	森澤 恭子	2022年12月4日
江東区	木村 弥生	2023年4月23日
豊島区	高際 みゆき	2023年4月24日
北 区	山田 加奈子	2023年4月27日

以上、選挙結果を中心に見てきたが、区長区議とともに、真価が問われるのは、これから。今後の活躍に期待しよう。

（広報部 横田正基）

## インフォメーション

### 区議との懇談会 開催予定

#### ●区議との懇談会

2023年11月11日（土）

午後2時～午後4時（予定）

スペースゆう 多目的室AB

開催日時は上記の通りに決まりました。  
テーマについては後日お知らせします。

### 消費生活フェア 開催予定

#### ●消費生活フェア

2023年11月25日（土）

今年も例年のように参画しています。詳細については続報をお待ちください。

### NWECフォーラム開催情報

#### ●男女共同参画推進フォーラム

主催：国立女性教育会館（NWEC）

2023年11月15日（水）

～12月21日（木）

今年度もオンライン開催と発表されています。運営委員は研修として参加予定です。男女共同参画について多くの知識を得る機会ですので、皆さま、ぜひご参加ください。後日、開催情報をお送りします。

### ジェンダーギャップ指数、125位に後退

世界経済フォーラムが、6月20日に最新の「ジェンダーギャップ指数報告書」を発表しました。

日本は146カ国中125位で、2006年の調査開始以来、最低の結果となってしまいました。

#### ◎日本の指数と順位今年と昨年の比較

分野	2023年		2022年		変動	
	指数	順位	指数	順位	指数	順位
総合	0.647	125位	0.650	116位	▼0.003	▼9
経済	0.561	123位	0.564	121位	▼0.003	▼2
教育	0.997	47位	1.000	1位	▼0.003	▼46
健康	0.973	59位	0.973	63位	±0	△4
政治	0.057	138位	0.061	139位	▼0.004	△1

### 北とぴあ前庭の植え替え

6月21日（水）の午後に、まちづくりグループが北とぴあ平和記念像前の花壇の植え替え作業を行いました。今回は夏に向けて、アメリカンブルー、ペントス、マリーゴールドを植えました。

まちづくりグループでは、北区環境課と協力して、この花壇の手入れを続けてきましたが、北とぴあ改修の関係もあり、緑化ボランティア事業は今年度で終了する予定となっています。



### \*編\*集\*後\*記\*

選挙との関係で、例年よりひと月遅い総会ではありましたが、『ねっとわーく』第15期の新体制が始まりました。2年任期の15期目ということで、2年経つと30年を数えることとなります。

今期は、スペースゆうの移転も予定されており、なかなか忙しい2年間になりそうです。（横田）

編集：広報部 横田 正基  
川井 久子 眞庭 成子

会報「扉を開いて」第86号

発行日：2023年7月19日

発行：北区男女共同参画推進ネットワーク

代表 大塚 麻子

ホームページ：<http://kitakudanjo.tokyo/>

メールアドレス：[network@kitakudanjo.tokyo](mailto:network@kitakudanjo.tokyo)

印刷所：（有）青雲堂印刷



次号は今冬に発行予定です。

・現在会員数 団体26、個人61名、賛助1名